



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月12日

上場会社名 帝国繊維株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3302 URL <http://www.teisen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 飯田 時章
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 阪田 繁 TEL 03 (3281) 3022
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	18,314	△34.4	2,009	△73.3	2,271	△70.6	1,406	△70.5
26年12月期第3四半期	27,934	27.8	7,533	63.4	7,736	63.2	4,764	61.5

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 378百万円 (128.6%) 26年12月期第3四半期 165百万円 (△98.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	53.72	53.26
26年12月期第3四半期	182.00	181.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	53,179	40,959	76.5	1,554.46
26年12月期	58,319	41,243	70.5	1,570.03

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 40,695百万円 26年12月期 41,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△22.8	3,500	△57.3	3,600	△57.3	2,200	△57.5	84.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有
 連結業績予想の修正については、本日（平成27年11月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	27,121,400株	26年12月期	27,121,400株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	941,889株	26年12月期	941,634株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	26,179,628株	26年12月期3Q	26,180,090株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

東日本大震災以来、防災・減災対策の在り方・概念そのものが根本から見直され官民挙げての防災・減災対策が実施されるなかで、当社グループは、消防防災の大きなテーマでもある「緊急消防援助隊の増強」「消防団を中核とした地域防災力の充実強化」「大規模地震に備えた減災対策」などに向けて、それぞれに相応しい防災資機材・装備・特殊車両のご提案など、積極的に応需してまいりました。また、民需防災の分野では、原子力発電所を擁する電力会社に当社が提案する緊急時（severe accident）対応の新たな防災・減災システムが幅広く採用されましたことから、それらの売上が当社グループの業績を大きく牽引し、昨年・一昨年と2期連続で既往最高の業績を挙げる原動力となりました。

今年度はその反動もあり、前年同期を大きく下回る状況が続いております。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況は以下のとおりであります。

<防災>

空港用化学消防車や空港用セキュリティ商材のほか消火栓用ホースなどが売上を伸ばしましたが、官公庁向け防災資機材や電力会社など民間企業向けの大型防災資機材などが、前年同期比大きく落ち込んだ結果、売上高は137億6千1百万円（前年同期比40.3%減）となりました。

大型防災資機材・装備・特殊車両のほか、防災・減災システムにつきましては、エネルギー・産業基盤災害対策として、引き続き堅調な需要が見込まれています。

また、今年度全国各地に、これまでにない大きな被害をもたらしました豪雨災害につきましては、補正予算を含め国・地方自治体による災害対策の見直しが行われており、当社グループの持てる商材のご提案など、積極的に応需してまいり所存です。

<繊維>

防護服や手袋用の防護衣料用生地や難燃生地などが売上を伸ばしました。官公庁向け繊維資材の落ち込みがあつて、売上高は41億6百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

<不動産賃貸・その他>

不動産賃貸事業は概ね順調に推移しており、売上高は4億4千6百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は183億1千4百万円（前年同期比34.4%減）、営業利益は20億9百万円（同73.3%減）、経常利益は22億7千1百万円（同70.6%減）、四半期純利益は14億6百万円（同70.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産が51億3千9百万円減少し、531億7千9百万円となりました。

これは主として、売上債権の減少や保有上場株式の含み益の減少などがあつたことによるものです。

負債は、未払法人税等の減少や繰延税金負債の減少などがあり、前連結会計年度末と比べ48億5千4百万円減少し、122億2千万円となりました。

純資産は、保有上場株式の含み益が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ2億8千4百万円減少し、409億5千9百万円となりました。

この結果、自己資本比率は76.5%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年度の通期業績予想につきましては、受注済の民間企業向け大型防災資機材等の納期が一部次年度に延期されたことや、防災車両の受注が低調に終わったこと、基幹産業向け大型商材の受注が所期の成果を未だあげていないことなどから、このたび平成27年2月13日に公表いたしました業績予想を修正し、本日開示しております。

防災事業の裾野は確実に広がりつつあり、中期経営計画「帝国繊維（テイセン）2016」で掲げたテーマの完遂を旨とし、業績の持続的拡大に努力しております。

エネルギー施設・産業基盤・重要施設の安全対策、今後懸念されるテロ対策・薬物対策、新たな感染症対策への取組み強化などを通じて、業績の拡大と企業としての社会的使命を果たしてまいります。

<通期連結業績予想>

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	31,000	5,400	5,500	3,500	133.69
今回予想（B）	27,000	3,500	3,600	2,200	84.03
増減額（B-A）	△4,000	△1,900	△1,900	△1,300	
増減率（%）	△12.9	△35.2	△34.5	△37.1	
（ご参考）前期実績 （平成26年12月期）	34,977	8,200	8,429	5,171	197.54

1株当たり配当予想（年間30円）は修正いたしません。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,156,209	6,807,998
受取手形及び売掛金	6,715,864	5,222,820
有価証券	11,999,720	9,999,605
商品及び製品	3,678,705	3,902,753
仕掛品	961,874	1,091,476
原材料及び貯蔵品	405,434	581,610
繰延税金資産	128,853	99,893
その他	311,445	1,021,734
貸倒引当金	△249	△180
流動資産合計	31,357,857	28,727,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,923,678	1,826,874
機械装置及び運搬具（純額）	263,277	235,536
工具、器具及び備品（純額）	158,196	173,711
土地	261,480	261,480
建設仮勘定	542,052	591,645
有形固定資産合計	3,148,684	3,089,247
無形固定資産		
借地権	899	899
その他	66,768	59,608
無形固定資産合計	67,667	60,508
投資その他の資産		
投資有価証券	23,385,452	20,921,848
繰延税金資産	29,315	28,618
その他	330,364	351,988
投資その他の資産合計	23,745,132	21,302,456
固定資産合計	26,961,485	24,452,211
資産合計	58,319,342	53,179,925

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,089,508	2,968,494
1年内返済予定の長期借入金	44,200	77,200
未払法人税等	1,794,079	—
役員賞与引当金	72,000	60,750
賞与引当金	—	162,244
その他	796,338	436,469
流動負債合計	6,796,126	3,705,158
固定負債		
長期借入金	155,800	97,900
長期預り保証金	981,516	936,713
繰延税金負債	8,195,523	6,609,275
退職給付に係る負債	107,920	117,525
資産除去債務	109,157	109,224
長期末払金	329,230	328,830
その他	400,269	316,050
固定負債合計	10,279,416	8,515,519
負債合計	17,075,543	12,220,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,387,098	1,387,098
資本剰余金	761,469	761,469
利益剰余金	24,568,936	25,189,995
自己株式	△373,480	△373,967
株主資本合計	26,344,023	26,964,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,640,870	13,745,351
繰延ヘッジ損益	118,066	△14,842
その他の包括利益累計額合計	14,758,937	13,730,508
新株予約権	140,839	264,144
純資産合計	41,243,799	40,959,247
負債純資産合計	58,319,342	53,179,925

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成27年1月1日 至平成27年9月30日）
売上高	27,934,596	18,314,860
売上原価	17,439,183	13,428,089
売上総利益	10,495,413	4,886,770
販売費及び一般管理費	2,962,266	2,877,172
営業利益	7,533,146	2,009,597
営業外収益		
受取利息	7,347	9,732
受取配当金	154,665	247,661
持分法による投資利益	1,259	1,499
特許関連収入	20,300	—
その他	26,897	13,375
営業外収益合計	210,470	272,269
営業外費用		
支払利息	3,007	3,777
租税公課	—	3,144
減価償却費	—	2,890
その他	3,816	775
営業外費用合計	6,824	10,588
経常利益	7,736,792	2,271,278
特別利益		
固定資産売却益	8,954	3,111
特別利益合計	8,954	3,111
特別損失		
固定資産処分損	3,140	22,762
その他	—	8,673
特別損失合計	3,140	31,436
税金等調整前四半期純利益	7,742,606	2,242,953
法人税、住民税及び事業税	3,074,675	750,798
法人税等調整額	△96,788	85,702
法人税等合計	2,977,887	836,501
少数株主損益調整前四半期純利益	4,764,718	1,406,452
四半期純利益	4,764,718	1,406,452

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	4,764,718	1,406,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,445,694	△895,519
繰延ヘッジ損益	△153,676	△132,909
その他の包括利益合計	△4,599,371	△1,028,428
四半期包括利益	165,346	378,023
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,346	378,023

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年1月1日至平成26年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	防災	繊維	不動産賃貸	その他	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	23,035,174	4,410,556	345,316	143,549	27,934,596	—	27,934,596
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,780	53,652	13,950	—	70,383	△70,383	—
計	23,037,954	4,464,209	359,266	143,549	28,004,979	△70,383	27,934,596
セグメント利益又は損失(△)	7,866,933	268,987	247,367	△2,167	8,381,120	△847,974	7,533,146

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△847,974千円には、セグメント間取引消去4,958千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△852,932千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年1月1日至平成27年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	防災	繊維	不動産賃貸	その他	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	13,761,949	4,106,373	347,416	99,120	18,314,860	—	18,314,860
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,796	46,038	13,519	—	71,354	△71,354	—
計	13,773,745	4,152,411	360,936	99,120	18,386,214	△71,354	18,314,860
セグメント利益	2,295,774	359,006	250,948	3,763	2,909,492	△899,894	2,009,597

- (注) 1. セグメント利益の調整額△899,894千円には、セグメント間取引消去1,747千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△901,642千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。